



受講のご案内

## 第4回

# 医療機関トップマネジメント研修コース 参加のお勧め

社団法人 全日本病院協会

会長 西澤寛俊

日頃より当協会の活動にご協力ご支援をいただき、誠に有難うございます。

アメリカの金融危機に端を発した経済状況の急速な悪化が、国民生活への影響の一部として受診抑制なども取りざたされるようになり、病院を取り巻く環境は更に厳しいものになるのではないかと懸念されます。

しかし、社会の医療提供に対する要求は高度化・多様化しており、我々は環境変化の有無に関わらず、これまで以上に質向上、効率化を図り公共性の高いサービス業として事業を継続していく必要があります。そのためには、施設運営に際して医療実務（専門技術）と経営実務（管理技術）双方を兼ね備えたトップマネジャーの存在が不可欠ですが、医学教育・卒後研修の中に経営学並びにその実務習得は含まれておりません。

全日本病院協会では、平成17年度から経済産業省の「医療経営人材育成事業」に参画し、研修用教材作成を行い、平成18年度より、これを利用した医療界では数少ないケーススタディによる研修会を開催致しております。

研修では、施設運営の際のモデルとなるような民間病院の実例を中心に、効率的、戦略的な医業運営を行うにあたっての実践的な知識や判断力の習得を目指しグループワークを中心に行っております。現在のトップマネジャーや次世代を担う理事長・院長候補の方々が全国からご参加され、普段では聞くことのできない各施設の実態に関する意見交換の場ともなり、受講者間の有意義な交流も行われております。

系統的な教育と実践に基づく知識・見識に富む行動力のある経営者の育成を目指し、今年度も引き続き「医療機関トップマネジメント研修コース」を開催致します。

会員各病院の積極的なご参加をお願い申し上げます。

ALL JAPAN HOSPITAL ASSOCIATION

第4回(平成21年度)

# 医療機関 トップマネジメント 研修コース

受講対象 理事長・院長の役職にある方、または将来の理事長・院長候補の方

開講期間 平成21年6月～10月  
全4単位、各単位2日間 土曜13:00～21:00 日曜9:00～15:00

受講料金 全4単位 300,000円(食事代・懇親会費含む)

受講定員 40名

会場 社団法人 全日本病院協会  
〒101-8378 東京都千代田区三崎町3-7-12 清話会ビル  
TEL.03-3234-5165

申込締切 平成21年4月30日(木)



社団法人 全日本病院協会



社団法人 全日本病院協会



# Program

●講師・講義内容は変更になる場合があります。

## 第1単位 6月13日(土) 13:00~21:00 14日(日) 9:00~15:00

(第1日目) オリエンテーション、医療概論、経営学概論

●講師  
 飯田 修平 財団法人東京都医療保健協会練馬総合病院 院長  
 伊藤 一 小樽商科大学商学部 教授  
 李 済民 小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻 専攻長

■概要  
 <医療概論>  
 医療経営をするために必要な基本的考え方と知識を提示する。医療とは何か、医療の特性、医療制度(医療提供体制と医療保険制度)、医療機関の特徴、組織とは何か、とくに病院とは何か、病院の組織図、病院の業務、医療の標準化、情報化。  
 <オリエンテーション、経営学概論>  
 ・ケーススタディー方法論とケース研修の目的を説明する。  
 ・経営概論  
 医療事業において必要とされる経営学の基礎的用語・概念を中心に解説する。SWOT分析による競合相手の位置付けや、マーケティングの代表的手法を紹介する。

第1日目	医療概論	講義
	ケーススタディの説明など	説明
	経営学概論	講義
	エクセレントホスピタル	病院紹介
	懇親会	

(第2日目) 広報・ブランド管理、医療の質評価、DPCの活用

●講師  
 伊藤 一 小樽商科大学商学部 教授  
 石田 章一 日本HIS研究センター 代表幹事  
 長谷川 友紀 東邦大学医学部社会医学講座医療政策・経営科学分野 教授

■概要  
 <広報・ブランド管理>  
 ・広報戦略の実際  
 広報に関する意義と方策を系統的に解説する。  
 ・広報と広告の違い  
 <医療の質評価、DPCの活用>  
 急性期病院の包括評価であるDPCでは、標準コードを使用し、電子的に、医療内容を含む情報が利用可能となる。これを用いた医療の質評価の方法について学ぶ。

■演習  
 ・CSRレポートの活用設計  
 ・各種媒体の効果と活用事例

第2日目	広報・ブランド管理	講義
		グループワーク
		発表・討議
	医療の質評価 DPCへの活用	講義
		発表・討議

## 第2単位 7月25日(土) 13:00~21:00 26日(日) 9:00~15:00

(第1日目) DPC財務への適応、財務管理、管理会計(基礎)

●講師  
 長谷川 友紀 東邦大学医学部社会医学講座医療政策・経営科学分野 教授  
 石井 孝宜 文京学院大学・大学院 経営学研究科客員教授(公認会計士)

■概要  
 <DPC財務への適応>  
 DPCの導入により、医療機関の機能分化、外来を含むバスの改訂、検査の絞り込み、ジェネリック薬の導入など医療マネジメント方法は大きく変わった。これについて概観し、課題を明らかにする。  
 <財務管理、管理会計(基礎)>  
 財務管理に関する基本的な考え方を解説した後、病院における管理会計の基本となる病院会計準則について説明するとともに基本的な病院経営指標の具体的な算式や理解の仕方を明確にし、計算演習を行う。また、医療法人経営の透明性確保の観点から制度改正により始まった医療法人の事業報告書等の開覧に関しても医療法人のトップマネジメントとして認識すべき視点を検討する。

■演習  
 <経営指標の計算演習>  
 病院及びその開設主体において必要とされる経営指標の内、機能性、収益性、生産性、財政状態について計算演習実施する。また、対象は実在する具体例とし、実務的な活用を可能にするとともに現時点の病院経営評価に役立てられるように構成する。

第1日目	DPC財務への適応	講義
		発表・討議
	財務管理・管理会計	講義
		グループワーク
		発表・討議

(第2日目) 管理会計・人事管理

●講師  
 池上 直己 慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室 教授

■概要  
 <管理会計>  
 管理会計の基本的な考え方を解説した後、病院において診療科別管理会計を導入する際の課題について検討する。  
 <人事管理>  
 人事管理の普遍的課題について解説した後、職員の間ほとんどが有資格者である病院の特殊性を説明する。そのうえで、人事管理システムを導入した病院のケースについて演習、講評を行う。

■演習  
 <人事管理>  
 ・自院における人事管理を踏まえて、ケースにおける人事管理を検討する。  
 <管理会計>  
 ・管理会計の結果がどのように実際の管理に反映できるかを検討する。

第2日目	管理会計・人事管理	講義
		グループワーク
		発表・討議

## 第3単位 9月26日(土) 13:00~21:00 27日(日) 9:00~15:00

(第1日目) 医療提携、慢性期包括評価

●講師  
 池上 直己 慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室 教授

■概要  
 <医療連携>  
 病院における連携について、講師が行ってきた実態調査の結果を踏まえて現状とその課題を解説後、連携が絶対条件となる地域医療支援病院をケースとして取り上げ、演習、講評を行う。  
 <慢性期包括評価>  
 包括評価の導入の背景、分類基準の開発、療養病床としての対応について系統的に解説する。  
 ■演習  
 <医療連携>  
 ・自院における連携を踏まえて、ケースにおける連携のあり方を検討  
 ・連携を進めるうえでのトップの役割  
 <慢性期包括評価>  
 ・包括評価導入に伴う区分構成の変化、モニター、人員配置、収支の変化  
 ・病床転換や連携の新しいあり方

第1日目	医療連携	講義
		グループワーク
	慢性期包括評価	発表・討議
		講義
		発表・討議

(第2日目) 安全管理、リスク管理

●講師  
 長谷川 友紀 東邦大学医学部社会医学講座医療政策・経営科学分野 教授

■概要  
 <安全管理、リスク管理>  
 医療安全は医療の質の最重要の構成要素である。医療安全の考え方を明らかにし、具体的な事例を基にした対応策の検討、院内での体制づくりの方法について検討する。

第2日目	安全管理	講義
		グループワーク
	リスク管理	発表・討議
		講義
		発表・討議

## 第4単位 10月24日(土) 13:00~21:00 25日(日) 9:00~15:00

(第1日目) BSC・TQM基礎

●講師  
 伊藤 一 小樽商科大学商学部 教授  
 佐藤 剛 グロービス経営大学院 教授  
 飯田 修平 財団法人東京都医療保健協会練馬総合病院 院長

■概要  
 <BSC>  
 BSCの概要を説明し、中規模病院でのBSC成功要因を考察する。  
 ・BSCの成功事例の検討  
 <医療における総合的質経営(基礎)>  
 医療への総合的質経営(TQM)の導入を検討するための、基本的考え方と知識を提示する。理念・方針、質管理原論・質管理手法、なぜ質向上か、量から質へ、医療の質向上、質向上活動、質管理(Quality Management)の基本的考え方、情報共有と標準化、継続的改善、PDCAサイクル、方針展開等

■演習  
 <BSC>  
 ・BSCの実施方法の習得  
 ・BSCの設計  
 ・運用と進捗状況の把握  
 ・職員満足度調査の効果  
 ・顧客満足度調査の設計と実施  
 <医療における総合的質経営(基礎)>  
 ・理念・方針の徹底  
 ・なぜ質か  
 ・改善の必要性  
 ・トップの役割  
 ・改善活動の組織化  
 ・推進方法検討  
 ・組織の活性化  
 ・(品)質管理  
 ・総合的質経営

第1日目	BSC	講義
		発表・討議
	TQM基礎	講義
		グループワーク
		発表・討議

(第2日目) TQM応用

●講師  
 河野 宏和 慶應義塾大学大学院経営管理研究科 教授

■概要  
 <医療における総合的質経営(応用)>  
 医療への総合的質経営(TQM)の導入事例(ケース・スタディ)GWと発表/質疑

第2日目	TQM応用	講義
		グループワーク
		発表・討議